

東京都立石神井高等学校 平成31年度 教科（地理歴史）科目（江戸から東京へ） 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：江戸から東京へ 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年組～組

教科担当者：(A組：柏)(BC組：柏)(DE組：柏)

使用教科書：（『江戸から東京へ』東京都教育委員会）

使用教材：（自作プリント等）

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	日露戦争	20世紀最初の対外戦争に日本がどう対処し、世界一等国への足掛かりをつかむかを理解させ、それが日本、世界にいかに関与してくるかを学ぶ。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	2

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	資本主義の発達と社会運動	日清・日露戦争を経て発達する日本の産業構造の実態と、それに伴っておこる諸問題について考察する。		2

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	韓国併合	韓国併合への流れ、日本の韓国統治の実態を知り、現代の日韓関係にも考察を発展させる。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	2

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	担当 時数
7 月	期末考査・答案返却	基礎知識の定着を図る。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	1

8 月	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	担当 時数

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	大正デモクラシー	大正期の民主主義運動の発展と限界を、当時の世界状況や憲法をふまえて理解し、現代にどう結びついているか考察する。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	2
	大正・昭和初期の大衆文化	関東大震災を挟んで東京がどのように変貌し、現代に通じる庶民の娯楽文化を、実物や写真を交えて理解させる。		1

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	満州事変	昭和初期の国際情勢、国内的行き詰まりを認識させ、その対応として日本が対外膨張、対内思想統制のファシズムに向かってゆくことについて考察させる。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	2
	日中戦争	日中戦争に至った事情をたどるとともに、戦場での実態を知らしめる。国民の戦争への意識、関わり方について考察する。		2

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	太平洋戦争	開戦から敗戦に至る過程を理解し、戦争を避けられなかったのは何故か、敗色濃厚でも終わらせられなかったのは何故かを考察する。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	4

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	期末考査・答案返却	基礎知識の定着を図る。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	1

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	戦後の民主化と主権回復	アメリカ政府とGHQによる民主化政策と、安全保障条約と引き換えの主権回復が、現在の日本人の生活感や日米関係に影響していることを考察する。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	2

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	高度経済成長	空前の高度成長をもたらした要因は何か。高度成長は日本及び日本人の何を変えたか。将来日本が経済成長することはあるのか、考察する。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	2

	指導内容	科目 江戸から東京へ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	学年末考査・答案返却	基礎知識の定着を図る。	歴史認識を持てたか。国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りを持てたか。	1